

2022年度の活動状況

2022年度は121人（27村）の母子保健推進員を育成し、前プロジェクトのONO SWITCH プロジェクトから累計して181人を育成しました。

また、母子保健推進員は、PHJが選定するのではなく、助産師、補助助産師、村の代表者等が中心となり、村の人から信頼される「この人に推進員さんになってもらいたい」という女性を選定し、PHJは選定された女性一人ひとりと個別に会って、推進員の役割や具体的な活動内容を説明し、本人の同意を確認します。2022年度は98村で401人の候補者を選定しました。

母子保健推進員の研修は2日間かけて、PHJスタッフとレウエイ郡保健局が協働で実施します。将来PHJの支援が終了しても、現地の力で持続的に母子保健推進員を育成し続けられるよう、2022年度は医療従事者に対して、母子保健推進員養成者研修を実施し、農村地域の45ヶ所の保健施設で働く医療従事者計55人が受講しました。



母子保健推進員の候補者選定



母子保健推進員候補者への説明

<プログラムの進捗>

プログラム目標	2022年度	状況
新たな母子保健推進員の育成 目標：2024年度までに600人	<ul style="list-style-type: none">121人を育成次の育成対象となる401人の候補者を新たに選定母子保健推進員を養成する現地医療従事者55人に養成者研修を実施	on schedule
母子保健推進員の再研修 目標：2024年度までに300人	—	—
活動のモニタリング及び指導 目標：毎年実施	—	—